

福岡県立戸畠高等学校父母教師会

〒804-0042 北九州市戸畠区夜宮3丁目1番1号

TEL 093-871-0928

1 会員数及び会費（平成18年度）

区分	P会員数	T会員数	その他の会員数	計
会員数	712人	54人	0人	766人
一人当たりの会費(年額)	5,400円	5,400円	0円	

2 収支決算（平成18年度）

収入の部	費目	収入額	摘要（主な使途）
	会費収入	4,137,750円	<運営、活動費>
	その他の収入	1,842,724円	・会議費・各委員会活動費・慶弔費 ・研修視察費・事務費・雇員人件費 ・大会等参加旅費
支出の部	費目	支出額	<学校教育振興費>
	運営・活動費	2,567,141円	・学校行事費・教育内容充実費
	学校教育振興費	1,204,731円	・生徒指導費・環境整備費・需用費
	周年事業積立金	500,000円	・保健衛生費・負担金
	支出合計	4,271,872円	

3 設けられている会則・運営規則・会計規則等

会則などの名称	制定・改正年月日	要旨
福岡県戸畠中学校父母後援会会則	昭和11年4月7日	
福岡県立戸畠高等学校父母後援会会則	昭和23年4月1日	校名変更
福岡県立戸畠高等学校父母教師会規約	昭和23年6月1日	後援会から父母教師会へ
	昭和53年4月27日	規約一部改正
	昭和55年5月22日	慶弔規定一部改正
	平成元年4月27日	規約一部改正
	平成17年5月6日	規約一部改正
	平成18年3月13日	慶弔規定一部改正

4 発足から今日までのあゆみ

年・月	PTAの沿革（活動のトピックスのみ記載）
昭和11年3月20日	福岡県戸畠中学校設立認可
昭和11年4月7日	福岡県戸畠中学校父母後援会発足
昭和23年4月1日	福岡県立戸畠高等学校と校名改称
昭和23年6月1日	後援会から福岡県立戸畠高等学校父母教師会へ
昭和24年5月1日	戸畠市立高等女学校を統合
昭和60年10月12日	創立50周年記念式典挙行
平成12年6月8日	福岡県高P連会長表彰（団体）受賞
平成13年6月22日	第45回九州地区高P連会大会で会長表彰（団体）受賞
平成14年8月22日	第52回全国高P連大会で会長表彰（団体）受賞
平成19年6月6日	福岡県高P連広報誌コンクールで最優秀賞受賞
平成19年6月22日	九州地区高P連広報誌コンクールで優秀賞受賞
平成19年8月24日	第57回全P連大会で優良PTA文部科学大臣表彰受賞

5 地域の概要

戸畠地区は、北九州工業地帯の形成とともに大企業が進出し、工業都市として発展してきました。

本校は昭和10年、戸畠市議会での県立中学校の建設の建議により、福岡県戸畠中学校として昭和11年に設置されました。中学校建設は市民の多年にわたる願望であり、設立当初から地域の学校として市民に親しまれており、文武両道の教育活動の実績は、地域の信頼を得て親子・兄弟はもとより、3代に亘り本校に就学する事例も珍しくなく、これまでに2万1千余りの優秀な人材を送り出しています。

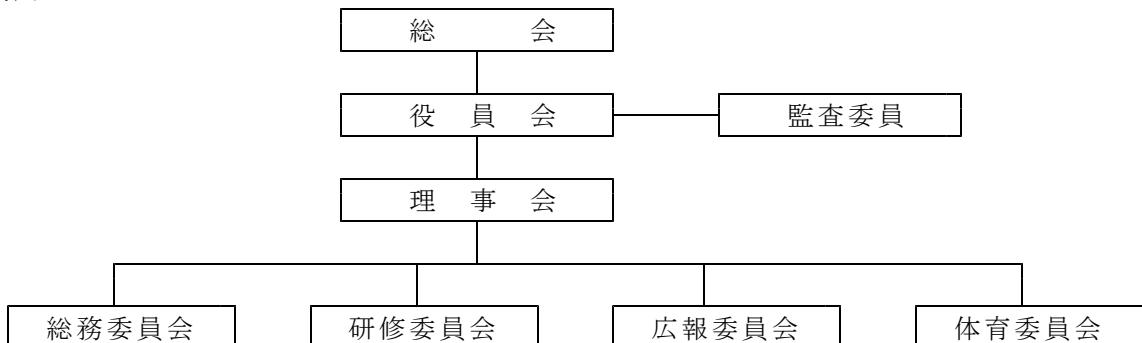
また、本校の文化祭や体育大会等の行事は、長い伝統の下、戸高3大行事として地域に親しまれ参観者が絶えず、生徒の活動が地域で見守ら注目されています。

6 組織運営の状況

本校の父母教師会は、在校生の保護者及び常勤職員で組織され、加入率は100%です。役員会は会長（1名）、副会長（3名）、書記（3名）、会計（2名）、監査（2名）並びに校長・教頭で組織し、各クラス3名程度（約55名）の理事を選出して、総務・研修・広報・体育の4つの委員会を構成しています。

学校行事の前には、役員・理事の合同会議を開催し行事への関わりや分担等を協議し、意思統一を図り学校行事に資すると共に、各委員会では年間活動計画に基づき活発な委員会活動を展開し、父母教師会を活性化しています。

＜組織図＞



7 広報活動の状況

広報紙（PTA新聞「飛幡」）を年1回発行しています。広報委員会が編集を行い事業のお知らせや報告にとどまらず、発行の都度、重点記事を定めて取組んでいます。

読みやすい紙面となるように、例年広報委員の代表者2名を毎年新聞作りの講習会に派遣し、紙面の構成や掲載内容等を研修させていますが、平成16年度から紙面をカラー印刷にしたことで内容・体裁とも、より興味を引く紙面となり、学校や生徒・父母教師会の活動を会員に提供する重要な情報発信源となっています。

PTA広報誌コンクールにおいても、18年度には県高P連の最優秀賞（県会長賞）・19年度には九高P連の優秀賞を受賞し、広報活動において高い評価を受けました。

8 学校教育及び家庭教育に関する学習活動広報活動の状況

平成16年度に、全ての生徒と保護者を対象とした、希望進路アンケート調査を実施し、生徒が就きたい職業と保護者が望む職業を調査・集計・分析し、その結果を広報誌に掲載して家庭での対話の糸口を提供しました。

更に、その内容と分析を深め、平成17年度北九州地区公立学校父母教師会連合会役員研修会の「家庭教育とPTA活動」で＜知っていますか？子どものこと＞と題して研究発表を行い、その成果を会員のみならず地区全体に還元しています。

全員アンケートの実施で、会員のPTA活動の参加意識を高め、家庭での親子の共通の話題を提供しましたが、同時に保護者のみを対象に、学校やPTAへの意見・要望も調査して、その内容を会話調のQアンドAで広報誌に記載し、学校・PTA・会員相互の情報の共有化を図りました。

また、例年PTA主催の研修視察もテーマを設けて行い、塵芥処理場や原子力発電所見学による環境問題意識の向上、国立博物館や歴史的建造物等の見学により地域と伝統文化の重要性について見識を深めるなど、積極的に研修を行っています。

9 地域の教育環境の改善

生徒会が主催する、戸畠高校3大行事「文化祭」「体育大会」「予餞会」に参画し、支援を行い、学校活性化と地域との交流を重点に活動しています。特に文化祭では、学校で育成している希少種「戸畠アヤメ」を株分けし、来校者に配布して好評を博しています。

また、不定期ですが学校周辺の外、学校に隣接する夜宮風致地区の「夜宮公園」の清掃を行い、生徒の美化意識を高めると同時に地域との結びつきを深めています。

10 児童・生徒の学校外生活の指導に関する活動状況

1年生を対象に、毎年12月に行われる耐寒訓練（早朝持久走）は、生徒の気力・体力・協調性の向上と耐える力や自己管理能力の育成を目的に5日間行われますが、その際に、PTAのバザー収益金を基に会員が「ぜんざい」を作り、参加者全員に配り、生徒との交流を深めます。

また、地域の夏祭り「戸畠提灯山笠」には、役員・会員有志が夜間に会場周辺を巡回し、生徒が事件や事故に巻き込まれないように努めています。

11 各種機関・団体との連携協力

地域との連携では、戸畠区の「社会を明るくする運動」実施委員会の1員として、毎年6月から8月にかけて様々な運動に参加し、犯罪防止や人権啓発活動、青少年の健全育成に積極的に取組んでいます。

学校内部の連携では、平成17年3月の選抜高校野球甲子園大会の出場や、平成18年10月の学校創立70周年記念行事・事業に対して、同窓会や諸関係団体と連携協力して物心両面の支援を行い、学校活性化と「文武両道」の校是を実現するために活動しました。

12 今後の課題

本校父母教師会の活動は委員会活動を中心としており、各委員がPTA行事や交流の場への参加を会員に呼びかけていますが、思うように一般会員には活動が広がりません。

広報誌などで活動内容を紹介していますが、多くの会員に、より活動への関心を深めてもらい、気軽に参加できるような内容と会員相互の関係を緊密にする体制作りが課題です。

また、父母教師会が会員と生徒との交流の場を設け、生徒と保護者の枠を超えて意見を交換するなど、お互いの意識や行動規範の理解をつうじて、家庭でのコミュニケーションや地域での生徒の健全育成を図って行きたいと思います。

単に行事をこなすのではなく、学校・地域・家庭が心を通じ合える活動を目指します。